

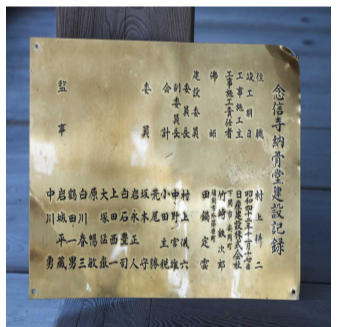
念信寺納骨堂 阿弥陀如来像



仏法領 ぶつぽうりょう

第86号

発行：真宗大谷派
念信寺
〒824-0202
福岡県京都郡みやこ町犀川上高屋761
☎ 0930-42-0329
Fax 0930-42-0502
ホームページ
nenshinji.org



阿弥陀様は前納骨堂の篠栗の仏師の作。
前納骨堂は昭和42年(1967年)に作られた。「故郷に納骨堂を建てよう」と趣意書にはある。鉄筋納骨堂は半永久的と考えられて山の中の墓から明るい場所にお骨が移された。清潔で掃除の手間がかからず、画期的なことだったに違いない。当時の建設委員には懐かしい名前があり、今はその子や孫の代になっている。入り口の上には「有縁立信」の額が掲げられていた。有縁の物故者の生き死にの縁に遇ってこそ掌が合わされるのだらう。



「未来の私へ」

十年後の私は何をしているだろうか
娘たちは自立して
楽しく暮らしているだろうか
母は穏やかに暮らせているだろうか
私は何かをなし得ているだろうか
見えない未来を想いながら
今を大切に生きていく
未来のために

(大迫光浩 写真・文)

未来のあなたへ

あなたの眼差しはきっと遠くを見ていることだろう
しかしどうか故郷を忘れないで欲しい
故郷とはこの身体と心を育んだ環境
それはしっかりと生きた先人が作ってくれた場所
現在は過去によって形づくられたもの
未来はこの現在からしか決して開けない
あなたには素晴らしい贈り物が既に与えられていることを
忘れないで欲しい
それはあなた自身なのだから

(住職)